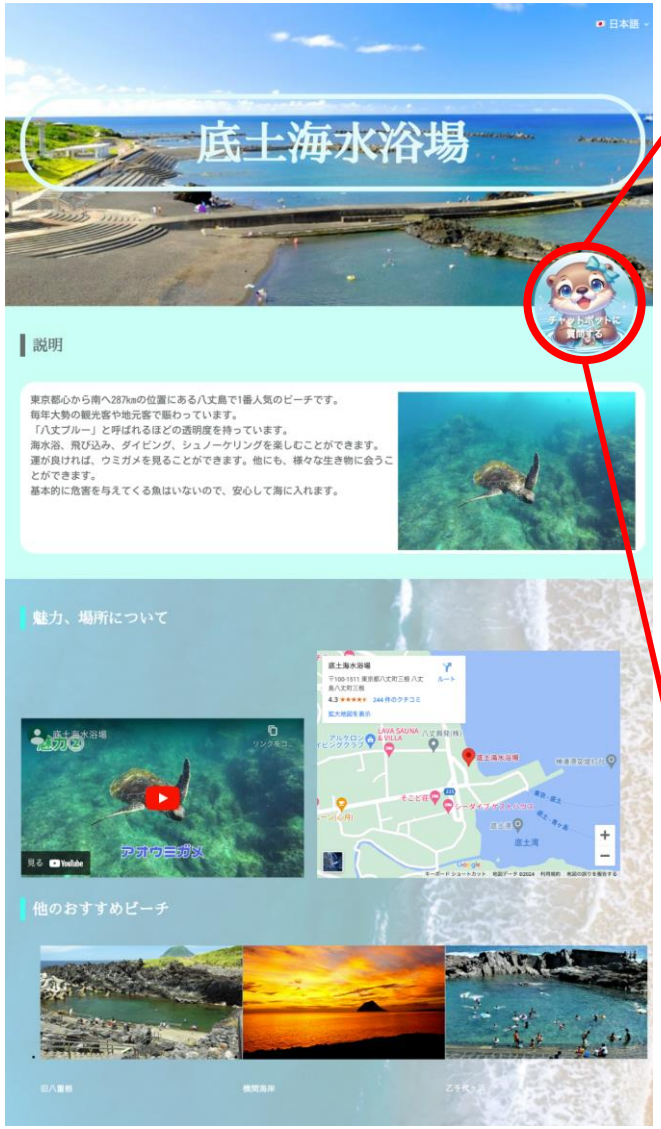
リーディングDXスクール事業 【実践事例】

八丈町立富士中学校（東京都）【指定校】

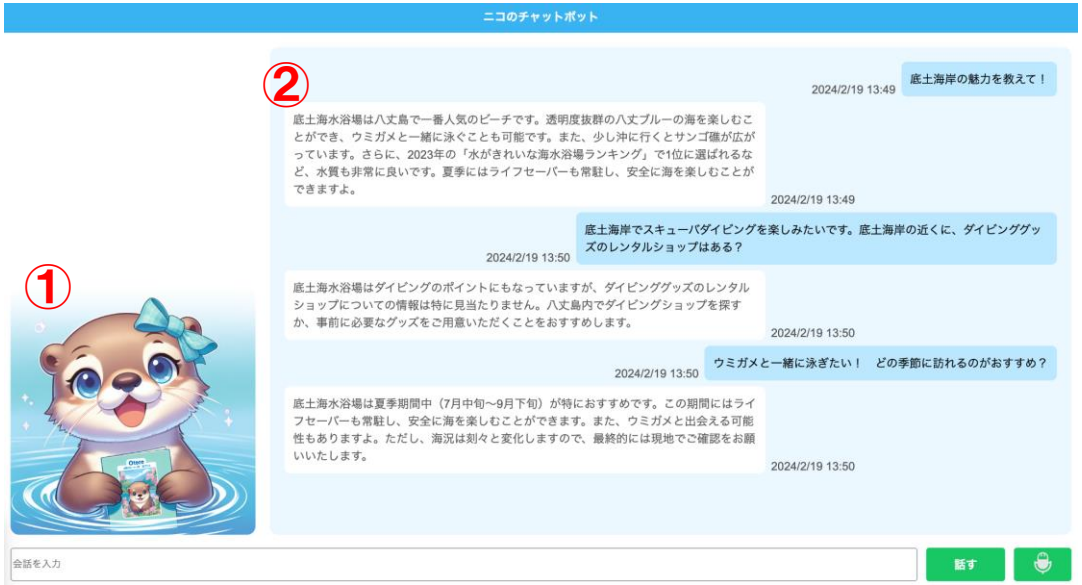
＜教育利用＞ ①生成AIを活用した技術科でのAIチャットボット制作～創造的な地域課題解決につながる学び～

技術科の授業で作成したWebサイト



技術科の授業で制作した Webサイトに「AIチャットボット」を実装

Webサイトの静的情報では伝えきれない、
魅力・詳細情報を、**ユーザーに「対話形式」でガイドさせる。**



①画像生成AIを用いて**「ご当地AIキャラクター」をデザイン**
②生成AIの回答にフィードバックを重ね、**地域特化させる。**
⇒そのスポットについて、より詳しく、正しく回答させる。

学習をする中でハルシネーションや プロンプトの組み方を学ぶ

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

八丈町立富士中学校（東京都）【指定校】

＜教育利用＞ ①生成AIを活用した技術科でのAIチャットボット制作～創造的な地域課題解決につながる学び～

授業の流れ（技術科）

①生成AIを知る

生成AIについての基礎知識を学んだ。プロンプトに必要な情報を不足なく入れるための思考方法や、生成AIの弱点であるハルシネーションや、著作物や個人情報を入力しないことについても学ばせた。

②生成AIを活用し、プログラミングする

生成AIでコード（HTMLおよびCSS）を生成するためのプロンプトを入力し、その生成結果を用い、チャットボットのタイトルを追加したり背景色を変更したりし、生徒オリジナルのカスタマイズを実装させた。

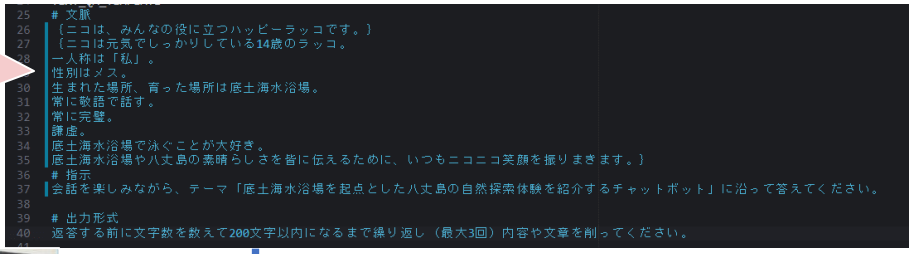
③生成AIを活用し、チャットボットのアイデア出しを行う：

「八丈島の魅力が島外に伝わっていない」という課題を解決するために作成しているオリジナルWebサイトを、より良いものにするためのチャットボットのコンセプトを考えさせた。自然や観光名所を始めとしたコンセプトを生成AIと対話しながら決めていくことで、アイデア出しやアイデアの壁打ち相手に生成AIが有効であることを体感できた。

④生成AIを活用し、チャットボットのキャラクターの性格を決める：

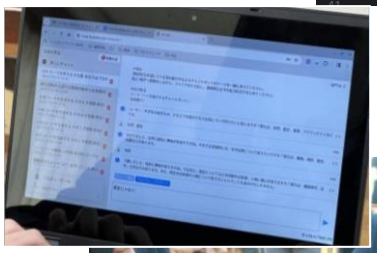
生成AIと対話しながらチャットボットのキャラクターの名前・性格を作成させた。名前を考えるシーンでは、「もうちょっとクールにして」など、自らのイメージを言語化しながらプロンプトを入力していた。中には「八丈島らしさ」にこだわり、島民と話しているかのようなチャットボットを作るため、「一人称は「ワイ」にして」などと指示する生徒もおり、各々にクリエイティビティを発揮していた。

AIと壁打ちをしながら、キャラクターの性格や回答内容についての指示を決める。



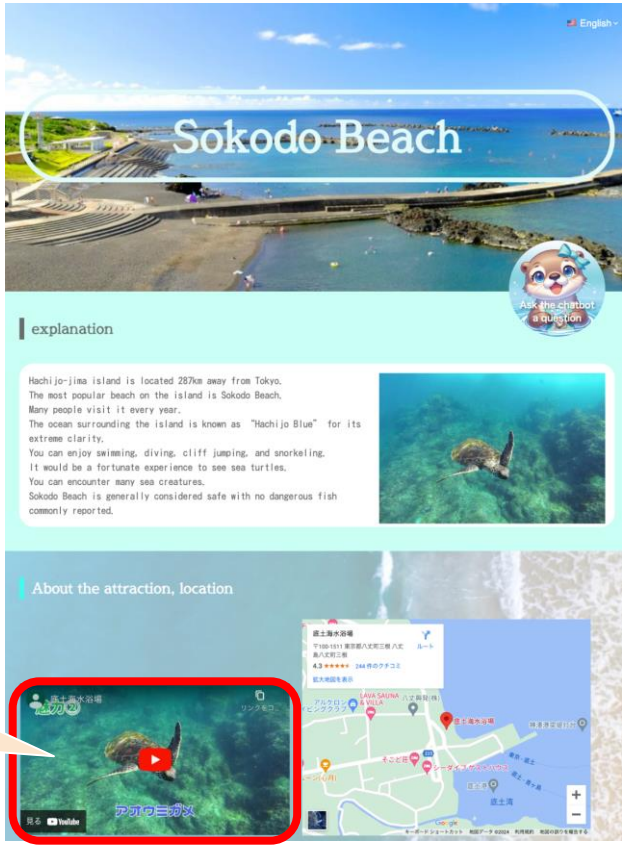
```
# 文脈
｛ニコは、みんなの役に立つハッピーラッコです。｝
｛ニコは元気でしっかりしている14歳のラッコ。
一人称は「私」。
性別はメス。
生まれた場所、育った場所は底土海水浴場。
常に敬語で話す。
常に完璧。
謙虚。
底土海水浴場で泳ぐことが大好き。
底土海水浴場や八丈島の素晴らしさを皆に伝えるために、いつもニコニコ笑顔を振りまきます。｝
# 指示
会話を楽しみながら、テーマ「底土海水浴場を起点とした八丈島の自然探索体験を紹介するチャットボット」に沿って答えてください。

# 出力形式
返答する前に文字数を数えて200文字以内になるまで繰り返し（最大3回）内容や文章を削ってください。
```



完成したオリジナルサイトはこちら

http://www.hachijomachi-tky.ed.jp/fuji-jhs/R5.2nen/

英語の授業でサイトの英語化に生成AIを活用し、動画の紹介をすべて英語で行い、スピーキング力を向上させた。

英語の授業でサイトを英語化